# 頑張る中学生

## 甲府・城南中2年 関根悠一郎君

# ひらめきを絵に 個展開催

甲府・城南中2年の関根悠一郎君(14)は、2歳から絵を描き始め、県内外で作品を発表しています。ペンなどを使った細かい描写が特徴で、画風は自由そのもの。ひらめいてワクワクした気持ちに従って毎日創作に打ち込んでいます。

パステルを使い、自分自身をロボットにみたてた絵などを描き始めたのが2歳半。4歳のときにはテントウムシの羽を丁寧に描くなど、年を重ねるごとに描写は細かくなっていきました。その後、関根君は数々の美術展で入賞を重ね、11歳のときには初めての個展も開催。今年10月には甲府・県立美術館の県民ギャラリーでも展覧会を開き、150点ほどの作品を発表しました。

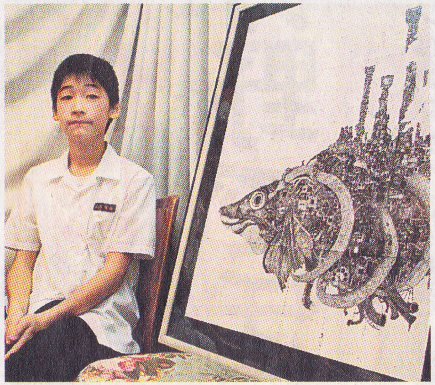
絵のテーマは多彩です。昆虫や骨、夢で見たものなどさまざまですが、どれも思うままに描いているので仕上がりはすべて独創的。最近は家で飼っているトカゲに夢中で、関根君は「動きもおもしろくてよく眺めて作品にしています」と話します。

絵のほか、いろいろな立体作品も作っている関根君。時計を分解して組み立て直したオブジェや陶芸作品などこちらもユニークなものばかりです。

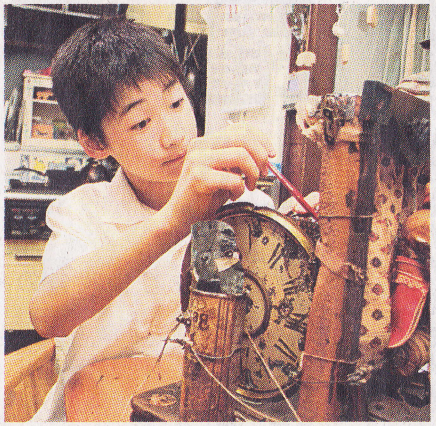
絵を描いたり、ものを作ったりしている時はとにかく夢中だと関根君はいいます。「『描こう、作ろう』と思ってやりだすのではなく、何かをひらめいたらもうペンを握っている感じなんです」。毎日創作に取り組んでいますが、熱中しすぎて深夜になってしまうこともしばしばあるそうです。

将来の夢として、関根君は画家に憧れがあるといいます。「絵を描くのは自己満足かもしれませんが、その絵を見た人が何かを感じてくれたらうれしい気持ちになるんです」。関根君は今日もペンを握り、創作を楽しんでいます。

〈田中喜博〉



「絵はひらめいたままに自由に描いています」と話す関根悠一郎君



立体作品づくりに取り組む関根悠一郎君

＝いずれも甲府市内